

# NPO 法人 やまぼうし自然学校

## ニュースレター

2015 年度 春号（5月27日発行）

きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきます。



『大人の自然体験♪薄雪の中でホクホク窯焼きピザ作り』

4月8日 長野校インタープリター講座にて

\*\*\*代表理事よりご挨拶\*\*\*\*\*



加々美貴代（がみちゃん）

春になると視覚を刺激される。講座で、「春の微妙な色彩を感じることが出来るのは、冬の色のない景色を知っているからだと思う。東京だとそれを感じるのが難しい。」と言われた。秋の彩の後、葉を落とした木々はモノトーンの装いとなって冬を越す。

だからこそ、春の輝きが素晴らしいと感じるのだとその話を聞いて納得した。視覚も、味覚や嗅覚と同様、個人差が大きいのではないかと感じるこの頃。きれいだと思いが感じる色も、他人の目で見たらどんな風に見えるのだろうか？急ぎ足で変化していく山々の緑を眺めながらそんなことを考える。気がつけば、山にはヤマフジの紫色が加わり、カッコウの鳴き声で季節が変わっていることにはとした。夏が始まる！

一わたしたちは春夏秋冬、長野本校と埼玉校・東京校で活動していますー

## スタッフよりひとこと



保母 裕美（ほぽちゃん）

社会人になって始めた茶道。ご縁あって先生が変わり、新たな青年部に仲間入り。初対面でも同じ道を進む方とは一体感を感じた。やまぼうしの道も、たくさんの方と歩ける道にしたい。



古川 明美（けみちゃん）

春になると畑仕事が多くてウズウズ。・・・6月過ぎには眺めるだけになり、ある意味本当の『自然農』になるのが毎年恒例。それでも毎年「今年こそは！」と気合をいれなおし、一先ずジャガイモ・カブ・大根を植えた。どんなに細々でも、一生続けて行きたいことのひとつ、大切にしたい。



長谷川 功（はせじい）

今冬は雪が多く、やまぼうしの小屋関係や樹木にも被害が出ました。その手当も済み繁忙期を前に新しい看板も完成し、5月15日にお披露目です。



古川 誠（じゃが）

子ども達に伝えたいと思っていることは、「主体性」。自分で自ら道を作って進んでいく力。その割には自分自身、なかなか動いていない！そして、勝手に動いてはただの自分勝手。主体性を持って、自分の道が進みやすいように、動いていきたい。



佐藤 美央（みろりん）

約10年履き続けた登山靴が限界になり、新しく皮の登山靴を買いました。10年の相棒と別れるのは寂しいけれど、新しい靴とまた10年、20年、楽しい登山を続けていけますように♪



後藤 かおり（ごっちゃん）

某アーティストのライブに行ったのですが、本番一週間前から緊張し、今でも余韻に浸っています。キャンプに来る子供達の気持ちに触れたような気がして、身が引き締まりました。



小菅 彩（こあちゃん）

3月からスタッフの1人になって初めての体験と、たくさんの出会い…。知らないことばかりで楽しく新鮮なことばかりです。楽しいという気持ちを忘れないでこれからもたくさん事を学んでいきたいです。



石川 順子（じゅんこさん）

今年は駅までの道端にやたらとナガミノヒナゲシが目につく。日々つぶさに観察すると隙間や空き地をことごとく占領。風にそよぐ姿は愛らしいけれどどこかしかもオレンジ色というのはなんだか。東京の下町も新緑が眩しい。



仲川 好乃（よっちゃん）

いまバラにはまっています。バラの香りには、意識の鎮静、覚醒、ストレスの軽減、免疫力の向上、自立神経の回復などがあるそうですよ。姿、香りも様々で楽しんでいます。



瑞慶覧 明子（ずけちゃん）

弥彦山でヤマブドウの新芽と2年ぶりの再会。そっと撫でるほど嬉しかった。けれどふと思った。知ってる知識で山を見てる。これじゃ面白くない！と、山ってなんだ？と問うてみた。と、飛び上るほど嬉しくなった！

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校

住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751

TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795

Email：info@yamaboushi.org

URL：http://yamaboushi.org

## 目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ■ニュースタッフ 上田市出身・地元っ子☆小菅彩 | 3  |
| ■Try!カエデのシロップ作り         | 4  |
| ■狩猟をするということ             | 5  |
| ■冬のキッズキャンプレポート          | 6  |
| ■東京イベントレポート みどりフェスタ     | 7  |
| ■真田〇ミーティング紹介            | 8  |
| ■教師の嫁・よそ者暮らし            | 8  |
| ■森でモリモリ遊び隊 レポート         | 9  |
| ■フォレストキッズレポート           | 10 |
| ■体験学習 雪遊びの極意            | 15 |
| ■2015 年度夏のキッズキャンプ募集中    | 16 |

## 1・2・3・4月の実施事業

### ■事務局

チーム腹時計(1/10)、首都圏支部評価会(1/11)、理事会(1/12、2/11)、FM 軽井沢出演(1/14)、上田市総合計画審議会(1/16・2/18・4/15)、シニア大学定例会議(1/16)、上高地ガイド協議会検討会(1/19・2/19・2/24・3/9・4/22)、白樺自然学校会議(4/1)、上高地ネイチャーガイド研修(2/25・4/5) 外遊びネットワーク人材創出部会(1/20)、助成金申請セミナー(1/23)、北アルプスの利用についての検討会(1/27)、中部森林管理局技術交流会(1/28・1/29)、野外力検定主任指導委員研修(1/30)、CONE 指導者委員会(1/30)、CONE 理事会(3/17)、真田〇ミーティング(2/5、2/7、2/12、2/13・2/27・3/18・4/6・4/12)、森林フォーラム in 大北(2/7)、リラクオーレマルシェ(2/8)、林野庁森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業検討委員会(2/10・3/10)、SBC ラジオ出演(2/10・3/17)、市民協働フォーラム(2/12)、信州ファンドレイジングサミット(2/18)、アウトドアチャレンジ会議(1/16・2/18・4/24)、コウノトリ愛称選考委員会(2/19・3/7)、つなぐ人フォーラム(2/21・2/22・2/23)、学習旅行誘致推進協議会千葉県営業活動(2/25)、外遊びミーティング・スキルアップ研修会(2/26・3/23・4/2)、スポーツ雪合戦菅平高原スノーバトル&戦国雪合戦(3/15)、森林ボランティア・NPO 連携推進会議(3/18・4/23)、スタッフマネジメント研修(3/30・3/31)、山姥とものけ姫たちの会(4/2)、マイン活動(4/14・4/28)、やまぼうしインタープリター研修会(4/21・4/30)、野外力検定実行委員会(4/23)、銀座 NAGANO 現地研修会(4/23)、霧ヶ峰植物研究会(4/24)、ラグビーワールドカップ 2019 キックオフイベント in 信州上田(4/25)、上高地開山祭(4/27)、みどりフェスタ(4/29)

### ■体験学習

**1月** 桐光学園中1男子(1/9)、桐光学園中1女子(1/9)、桐光学園高2女子(1/9)、桐光学園高2男子(1/9)、桐光学園中2男子(1/11)、久喜市立菖蒲中(1/14)、和光市立大和中(1/15)、市ヶ谷小(1/16)、小平市立小平第六中(1/16)、あきる野市立増戸中(1/27)、西岡保育園(1/28)、二松学舎高(1/29)、**2月** 野田市立木間ヶ瀬中(2/5)、墨田区立錦糸中(2/5)、国立音大附属小(2/5)、淑徳小(2/16・2/17)、行田市立南小(2/16)、行田市立北河原小(2/16)、行田市立星宮小(2/16)、行田市立西小(2/17)、行田市立太田西小(2/17)、行田市立桜ヶ丘小(2/17)、行田市立北小(2/18)、行田市立下忍小(2/18)、行田市立泉小(2/18)、行田市立須加小(2/18)、行田市立東小(2/19)、行田市立荒木小(2/19)、行田市立中央小(2/19)、行田市立太田東小(2/19)、行田市立埼玉小(2/20)、行田市立南河原小(2/20)、

### ■スキーができない生徒様向け少人数プログラム

法政大学高(1/15)、久喜市立栗林東中(1/16)、東村山市立東村山第四中(1/19)、山口県美折青峰高(1/21)、福岡市立福翔高(1/22)、桶川市立桶川中(1/22、1/23)、国分寺市立第一中(1/22)、鴻巣市立吹上中(1/23)、高知県立久保川高(1/26)、日野市立日野中(1/26)、野田市立南部中(1/27)、濃く無事市立第二中(1/27)、武蔵村山市立第五中(1/28)、京都府洛西高(1/28)、高知県立須崎高(1/28)、大阪市立鶴見商業高(2/3)、高知東高(2/3)、長崎県日野中(2/5)、埼玉県立鳩山中(2/5)、滑川市立滑川中(2/6)、鴻巣高(2/9)、山口県立柳井高(2/10)、長崎商業高(2/12)、甲府工業高(2/12)、高知県立須崎工業高(2/13)、山口県立長府高(2/14)、東京都正則高(3/10)、国分寺市立第三中(3/29)

### ■いつでもスノーシューガイド

1名(1/5)、3名(1/6)、2名(1/11)、4名(1/17)、8名(1/24)、2名(2/10)、2名(2/14)、12名(2/15)、2名(2/18)、10名(2/22)、7名(2/28)、2名(3/12)、3名(3/21)、1名(3/26)、2名(3/28)、

### ■森でモリモリ遊び隊/フォレストキッズ/キャンプ

森でモリモリ遊び隊(1/24・1/25・2/7・2/8・3/7・3/8)、フォレストキッズ(1/17・2/21・3/14)、森あちよびクラブ(1/24・2/7・3/5)、スノーキャンプ in 信州(1/4-1/7)、ウィンターキャンプ(3/26-3/29)

### ■イベント

千ヶ滝スノーシューイベント(1/18)、スキーピクニック(1/18・3/15)、根子岳スノーシューイベント(2/22)、手前味噌作りイベント(3/1)、戸隠スノーシューイベント(3/8)、ジビエイベント(3/21)、桜自然観察会(4/2)、春の親子で森遊びイベント(4/18)、

### ■森林・竹林整備事業

グレースの森整備(2/26・3/13)、真田竹林整備(3/13・3/14)、

### ■講座

都内森めぐりビギナークラス(1/8・4/16)、森林インストラクター養成コース(3/28・3/29・4/18・4/19)、神奈川シニア大学(1/14・1/23・1/28・2/11・2/12・3/4・3/19・3/31・4/14・4/28)、彩の国シニア大学(1/14・1/28・2/4・2/25・2/28・3/1・3/4・3/18・3/25・4/15・4/22)、森林を知り活かす講座(1/17・1/31・2/15・3/1・3/5・3/6・3/8)、上高地ネイチャーガイド養成講座(1/25・2/28・3/21、4/29)、インタープリター養成講座(4/8・4/12)

### ■委託

御代田自主保育(1/6、1/7、3/27・4/2)、黒川ネイチャーボランティア(1/12・2/1・3/1・4/5)、ふじみ野一段ボーイスカウトスノーシュ(1/24)、表ダボスゲレンデ旗門員(1/25)、上田市立教育委員会竹かんじき作り(2/14)、HONDAアソビの学校(2/21)、キッズフェスタ(2/28)、トリップーズ(3/7-3/8)、板橋区立文化会館エコ講座(3/25)、



## New スタッフ 上田市出身・地元っ子☆小菅彩

長野本校

やまぼうしの存在を知ったのは大学時代の講義でした。たった一回の講義でしたが元気なスタッフが楽しい講義をしてくれて、最後に私はジャンケンに勝って手作り干し柿をもらったのが、私のやまぼうしの第一印象でした。

小さい頃から自然が好きで興味を持っていました。大学でも森での活動があり、いつか自然に関わる仕事がしたいと思いつつも、卒業後は自然と関係ない仕事に就職。自然に触れる機会が少なくなり寂しさを感じていました。そんな時に大学での講義を思い出し、やまぼうしのHPへアクセスしました。



【ネイチャートレイル研修】

そこで楽しそうな活動やイベントのブログが書かれるたびに、日課のように（笑）koaという名前で毎回コメントをしていました。コメントするだけではなく実際に行きたいと思い、初めてやまぼうしに行ったのは冬のいつでもガイドでした。そこでずっと正体不明だったkoaだとカミングアウト。一気に距離が縮まりました。いつでもガイドでは1人で参加し、初めてスノーシューを履いて森を歩きました。初めての体験だったのでとても新鮮でした。そこから何回かイベントや畑作業のボランティア等に参加しました。

たくさんの人が集まって色々な活動をしていて、みんな笑顔で、その中心にやまぼうしがいる。やまぼうしは私にとって素敵な場所で、私もその一人になりたいと思っていました。そんな中でスタッフ募集の情報を知った時は嬉しかったです。こんなチャンスはない！と思い、応募し3月から晴れてスタッフに！知識も経験もなくやることほとんどが初めての毎日。始めの一ヶ月は一瞬で過ぎました。これからもっともっとと学んでいきたい！そしてたくさんの人に会いたい！知らないことだらけの私にたくさんのお話を聞かせて下さい。愛称は『こあちゃん』。みなさん気軽にこあちゃんと呼んでください。これからも自分にできることを見つけてスタッフの一人として笑顔で頑張ります！



【インタープリター講座】

文 小菅 彩

## おいでよ！やまぼうし食堂 ～食でつながるスタッフの輪～



やまぼうしで焼いている炭を使って七輪で焼き鳥！



うずらの卵で作ったお花の形のウィンナー♪



会員さんと一緒に作った、毎年恒例の手作りこんにゃく♪食感がちがう！

## Try！カエデのシロップ作り

「メイプルサップ」を知ったのは、「つるおか森の保育フォーラム2012」の活動報告でのこと。イタヤカエデの樹液で、煮詰めるとメイプルシロップになるもの。「日本でもメイプルシロップができるんだ！」それ以来、いつかやってみようと思っていて。あれから3年・・・その時が来た。



【完成！カエデのシロップ】

高級甘味料の「メイプルシロップ」は、子どもにとって憧れのシロップ。いつかは作ってみたいと思っていた日々がついに現実となった。

「やってみたい」を実行できた冬の後半2か月間は、満足感いっぱい、楽しく、うれしい日々でした。

森林整備のため、森を踏査していると、大きな素敵なウリハダカエデに出会い、そこからプロジェクトは始まった。

最初に樹液を採集する方法、採集する時期を考え、折角なのでイベントとして、参加者の皆さんと一緒に準備をした。準備が整ってからは、樹液の回収の日々。最初は寒すぎて、樹液がチューブ内で凍ってしまい、なかなか回収できなかった。

「根開き」が見られるようになると、木々も目覚めたように樹液を出し始めた。出てきた樹液はやさしく甘く、自然の神秘を感じる味がした。

ウリハダカエデのこと、気温（最低気温、最高気温と採集量の関係）、おもしろい発見も。

2月14日の設置から4月6日の最終回収までの約2か月間、多い時は1日に3ℓ、合計27ℓの樹液を回収できた。その間に、三四八さんのご協力で、樹液の回収はほぼやっていただいた。

森を楽しむ方法は様々、今回のプロジェクトのおかげでさらに森を身近に、楽しく、素敵な場所と再認識でき、来年の冬の楽しみがひとつ増えた♪



【道具の準備】



【採集器材をセット】



【最高採集量記録更新】

文 加々美 貴代

\*\*\*\*\*

## 薪割り機、お貸しします

薪割り機を助成金で購入しました。運搬車と合わせて貸し出しをします。ご希望の方はお申込みください！



## 狩猟をすること—ジビエイベントを開催して—

長野本校



3月21日(土)に、毎年恒例の『ワイルドジビエランチ』イベントを開催しました。毎年本物の猟師をお迎えし、調理から参加者の方と一緒にいき、午後は鹿角等を使ったクラフト作りを楽しむこのイベント。今年は「ジビエのことをより深く知り、自らの生活を振り返ってみよう」ということをテーマに開催。その中で、講師であり・猟師であり・やまぼうしインタープリター会員である、茂木和彦さんより、狩猟について以下のようなお話しをしていただきました。

\*\*\*\*\*

近年野生獣(鹿・猪・熊・ハクビシン・ニホンアナグマ)による農作物・林業・人々への被害が大きな問題になっている。特に、鹿・猪の農作物への被害は、長野県内の大きな経済問題である。長野県において、2011年の経済的被害額は15億円から17億円であると言われており、鹿に限れば、5億3481万円になるそうだ。長野県は平成25年度の鹿駆除の目標を3万5千頭とし、結果は3万9千頭であった。長野県内の鹿推定頭数は約10万6千頭である。皆さんはこの数字を聞いて、どう思いますか？

日本には今のところ、鹿の天敵はいない。せいぜい猟師くらいです。オオカミ導入の意見もあるが、ハードルが高く、実現の可能性は少ないと言われています。現時点では猟師による駆除しかないのが現状です。私が思うには、金銭面と法律的な煩わしさも多分にあると思う。私は7年ほど前に狩猟免許の第一種とわな猟を取得しましたが、印紙申請手数料だけで約6万〜7万円、その他第一種の場合、銃・銃弾ロッカー、無線機機20万〜30万円かかります。その後、猟期前に毎年狩猟登録で3万〜5万円程と結構な道楽です。しかし、秋が過ぎ猟期が近づくとうずうずわくわくその楽しさがわいてきます。やはり、80〜100kgの獲物を銃で倒す醍醐味は何ともいえない楽しさと快感です。命ある生き物に対し失礼不謹慎かもしれないが、その分、きちんと処理して、肉もいただきます。

長野県でも平成25年度から「信州ジビエ研究会」が発足し、「ジビエを味わうなら信州！大自然が育んだ味をもっと身近に」と唱えています。ジビエ(gibier)とはフランス語で狩猟鳥獣の肉のことをいいます。狩猟が解禁される冬はジビエ料理が本格的に楽しめる季節です。



かしきめん

日本では仏教の伝来により殺生を忌み嫌う時代、狩猟によって鹿肉を食べることをタブーとされていました。長野県諏訪市にある「諏訪大社」では、「諏訪の勅文」というものが

あり、慈悲と殺生は両立するという説がありました。諏訪大社では狩猟の免許符「鹿食免」を発行して、これを授かった人は生きるために狩猟をして鹿肉を食べることが許されました。こうした背景があって諏訪地域では古くから、「ジビエ」が伝統食として根付いています。また、南信州では「ふとんを質に入れても鹿肉を食え」と言われていたそうです。この言葉からジビエは信州の厳しい冬を乗り越えるための貴重な栄養源だったこともうかがい知れます。

海のない長野県は昔から昆虫や獣から動物性タンパク質を得て生きてきました。「わざわざ野生動物を殺すのは可哀想。スーパーに行けば綺麗にパックされた肉が売っているのに」と思うかもしれませんが、可哀想だけでは済まない大きな問題がある事も考えてほしいと思います。

\*\*\*\*\*

このイベント終了後、参加者の方にアンケートを取ったところ、多くの方から「命をいただくという事がどういうことか考えるよい機会になった」といった声をいただきました。

またこのイベントに先立ち、狩猟の様子や写真を参加者に見て頂くため、スタッフ古川誠が茂木さんとの狩猟に同行しました。実際に鹿を猟銃でしとめさばく場面を見て、「ピンと張り詰めた空気があり、人も生態系の一部、「いのち」を糧に生きていることが実感できました。そのお肉を使ったイベント。いのちをたべることを知るきっかけになりました。」と語っています。

私たち人間の生活スタイルが変化しつづける中で、「人間と森の動物たちとの関わり方」について「考え続ける」ことが大切なのではないかと感じました。ワイルドジビエランチが、考え続けるのきっかけとなるイベントになれば嬉しいです。

イベント企画担当 後藤 かおり

## 冬のキッズキャンプ レポート

長野本校

スノーキャンプ in 信州 12月26〜29日 1月4〜7日 2コース実施  
2コースとも天気に恵まれ、スキー&雪遊びを存分に楽しみ、友だち作りもできました！

最高のながめでスキー！



仲良しピラミッド！



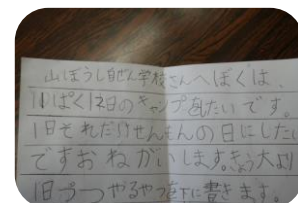
ウィンターキャンプ 3月26〜29日 実施  
思う存分、最後の冬を満喫！



かご編み作りで職人気分！



春にむかうその前に！もう一度、しっかり冬を体感！そして参加者より、こんな手紙が届きました。



保護者の方曰く、「キャンプから帰ってきてすぐ自分の希望のキャンププランを作っていました。」11泊12日のキャンプ、今年3年生の彼が6年生になるまでに必ず実現します！！

文 古川誠



## みどりフェスタ

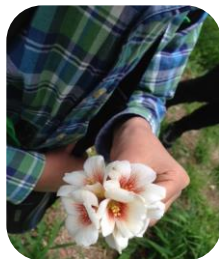


【シークレットゾーン  
〈母と子の森〉】

環境省主催による、2015 みどりフェスタが春の気持ちいい気候の中、4月29日（昭和の日）に新宿御苑にて開催されました。やまぼうし自然学校東京校はこの催しに、受付2名、インストラクター2名、研修2名の態勢で、自然体験推進協議会さんの1名とで協働参加しました。体験プログラムは「母と子の森でしぜんさがし」とのタイトルにて、森林インストラクターと自然クイズをしながら森を歩きました。

老若男女の家族連れや各種グループが切れ目なく来園する中、午前と午後それぞれ1回、各回親子先着10組様の受付を行いそれを2班に分けて、各班にインストラクター1名が付いての案内をしました。参加者年代構成は幼児、園児、小学生低学年～高学年、父母、祖父母と各年代にわたったのもでした。

森歩き案内は、樹木の各部の働きや部分的な生態系をやさしくわかりやすい言葉で解説をしました。具体的には、①葉：光を受けて成長のためのエネルギーを作っている、②実：木は動けないが実の時だけ動く事ができる、③幹：木全体を支え水を葉に運びエネルギーを各部に配る、④根：木が生きていくために必要な水や栄養を集めている、木が倒れないように踏ん張っている、⑤虫：葉を食べたり樹液を摂ったりするが落葉を砕いたり死骸が木の栄養になるといった内容に、この木の葉は何枚か？このドングリはどの木の実か？この木の根はどの範囲まで張っているか？といったクイズも織込んで参加者を飽きさせない構成となっていました。



【地面に散るアブラギリの花を集める男子！】



【トチノキの花ってどんなかな？】

受付では、今夏のやまぼうし原人キャンプのちらしを約300枚配り切り、集客活動の活発な姿が見られました。これまでおもに長野校のインタープリターとして活動してきましたが、昨年転勤のために東京に引っ越し、東京校のインタープリターとして活動をはじめました。今回の活動に参加して感じた事は、大都市の中に残された緑地をフィールドとして少～中人数の個人を対象としたお客様に解説を提供するのが得意な東京校、一方の長野校は学校という団体の大人数による活動のバックアップをするのを得意としており、お客様から要求されるプログラムを満足させるために、大量の資材を活用して進めているというのが自分が思うイメージです。

各拠点において、両校ともそれぞれの地域特性に合致したプログラムを企画し、お客様に提供するために、その地でそれぞれが努力しているのを感じる事ができた一日でした。



文 インタープリター会員  
岩岡 義雄

## 『真田のミーティング』



真田山長谷寺副住職・NPO法人ほこほコネクト理事長 宮下俊哉さん

2015年2月より、『真田のミーティング』という会を発足しました。やまぼうし自然学校さんからも加々美さんや、佐藤さんに運営企画委員として加わっていただいております。この集まりは、真田地域のいろんな人に参加してもらおうと思ってます。たとえば行政からの参加者も一住人としての参加です。



【会議風景】

何をやるか？何の目的？それは、集まってお話をしてからです。何が生まれるかはお楽しみ。それでも何をしたいかという、真田地域のことは住民一人一人がみんなで考え、課題や問題があったら助け合ったり、知恵を出し合い、みんなで住みやすく、一人一人がみんな輝ける街にしたいという想いです。やまぼうしさんにもたくさん素晴らしい人が集ってきます。みなさんそれぞれに素晴らしいものをもっています。そのような素晴らしい方々はそれぞれのフィールドで活躍されております。そのフィールドをもっと多様にする事で、もっと新しいものが生まれるかな？と思うのです。

そして目指すのは…本業と通じてます。私の本業はお寺です。お寺は人の心に安心を届けるところだと思います。でも私の力なんかちっぽけです。だからみんなで集いみんなで助け合いたいと思ってます。あたたかい心が通い合い、お互いの違いを認め合い、自然と一体となって一人一人のいのちが輝ければと思っています。

## 教員の嫁・よそ者暮らし～村上編～

この地図の下方に、赤字で「普濟寺」とある。  
490年ほど前、固剛宗厳和尚が開山した曹洞宗のお寺だ。  
6月に、ここを会場に〈森あそび・絵本・対話〉の一日を企画中。



「お互いを知るにはある程度の時間が必要ですね。」とお昼から夕方まで、ゆったり時間をとっていただき、「場所は自由に使ってください。」と案内くださった。

包み込むような温かさに、自ずと企画のエンディングは、ご住職の笑顔を描く。それは同時に、その場にいるひとりひとりのストーリーのクライマックスでもある。舞台は自然、舞台はお寺。ひとりでも幸せな場所に、親子が来てくれる！

立体地図のイメージで、「普濟寺」の文字を眺めて欲しい。  
田んぼ、畑と民家の中に、ひときわ大きなお寺が浮かぶ。その一角に、ゆったり佇むご住職。

笑顔のエンディングなど、ありがた迷惑な話だろう。ストーリーを描くクセがあるから、仕方ない。やるべき準備が見えてきて、予期せぬハプニングへの覚悟ができる。森の営みがそうであるように変化し続けるストーリー。ひとりひとりが描くお手伝いができたら嬉しい。

文 太田明子



## 長野校 森でモリモリ遊び隊

地域の子どもたちにこそ、身近な自然の中で遊んで欲しい。そして地元をもっと好きになってほしい。そんな思いが込められた、小学生限定企画【長野校 森でモリモリ遊び隊】と【埼玉校 フォレストキッズ】。1年を通して年10回、保護者から離れ、学校や学年の垣根を越えて自然の中でおもいきり遊んだ記録をレポートします！

### \*\*\*\*\* 森でモリモリ遊び隊 \*\*\*\*\*

1月24・25日 冬の森遊び 全力雪遊び！

面白ソリスベリ

雪が楽しすぎてにっこり

自分がはじめの一歩！



2月7・8日 スノーシューで雪の森探検！

雪の森をスノーシュー！

雪の表面で作ったよ

雪に埋もれてピース♪



3月5・6日 親子で雪遊び&思い出スライドショー

親子そり！

巨大雪だるま&イグルー完成！

思い出発表！



## 埼玉校 フォレストキッズ レポート



### \*\*\*\*\* フォレストキッズ \*\*\*\*\*

1月10日 どんど焼きで無病息災を願いお餅を焼いていただきました。

どんど焼き

楽しいことみつけた

畑を片付けていたら芋が！



2月21日 菅平で雪遊び 思いっきり雪を体感！

イグルーの完成

思いっきり雪を感じて！

雪の秘密基地



3月14日 春を探しにトトロの森探検&一年間のまとめ

弓矢体験

晴の顔

双眼鏡で見ているのは？！



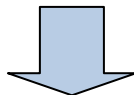
# スタッフ元気の源人！

やまぼうし自然学校で実施している森でモリモリ遊び隊。  
地元子ども達が年間を通して自然の中でモリモリ遊ぶ活動で、今年で11年目を迎えます。  
そして、2014年度の隊員の中で初めて、1年生から6年連続で参加してくれた隊員が4名います！

## 1年生のころ



6年が経ち・・・



## 6年生に！！

6年間連続で参加してくれたのは、この4名がはじめてで、彼らは火おこしも森遊びも、のこぎりや小刀の使い方とも低学年の隊員達に教えることができるくらいです。  
彼らの存在は、やまぼうし自然学校にとって、嬉しくもあり、頼もしくもあります。  
彼らが6年間参加してくれた中で、参加し続けることができた理由や、楽しかったことを本人たちと保護者の方に伺いました。

### Q 森でモリモリ遊び隊を6年間続けられた理由は？

隊員

- 親の協力のおかげ。
- 森で遊ぶのが楽しく、経験できない事だから
- 次の予定が楽しみでやりたい！と思っていたから
- 最初の1年がとっても楽しく、あっという間に6年目になっていたから

保護者

- お友達の存在とスタッフの存在のおかげ
- 自分たちで工夫して遊ぶことが楽しかったと思う
- 好きなことを好きなようにさせてもらったから
- スタッフが子どもを1人1人と向き合って信頼関係が強くなった

### Q 印象に残っていることは？

隊員

- はじめて自分の力で火をつけた時
- 毎回がとても楽しい！
- 遊び隊の全部が思い出に残っている！
- キャンプでのイモムシタックル！

保護者

- だれよりも一番よごれて汚かった事！
- 参加した子どもの目が輝いていたこと！
- 日焼けして汚れて帰ってくるのが嬉しかった！

### Q どんなことができるようになった？

隊員

- 最初は怖かった火おこしがすっかり平気になった！
- 木や竹を自分で切れるようになった。
- 皆がどうしたら仲良く楽しくできるかを工夫して実行にうつせるようになった
- ロープの結び方、弓矢作り、木登り、ほかにも沢山！

### Q 大変だったことは？

保護者

- 風邪を引いた時も「モリモリ」に行きたいと言われたときは困った
- 汚れた靴を洗うのは大変。それを含めて面白かった
- 最初は送迎が大変だったが、自分たちだけでバスで行くようになり、楽になった。自分たちだけでバスに乗る事を楽しんでた様子

### 保護者の方のご意見、ご感想

- 低学年の頃は楽しい！だけだったのが、5年生頃から自信満々に楽しんでいました。自信があるからいろいろ出来る、だからなお楽しいというのが伝わってきました。
- 普段の生活では経験できない自然の中でのダイナミックな遊びができると思いました。
- 自然の中でのびのび遊ばせたい、親が教えられないと思った。
- スタッフが大きな存在だった様子。自分一人ときちんと向き合い、話を聞いたり、話したりしてくれる人がいた。遊び隊に行くことで、いろんな大人、色んな生き方があり、自分の未来は夢にあふれていることが実感できたと思う。

今年2015年度は、土曜日コース、日曜日コースと2コース開催し、2コース共に定員も満員御礼となりました。

長年続けてきた中で、彼らのように6年連続参加してくれた隊員も生まれました。

彼らの最も良い点は、「自らの意思」で、来てくれていたことです。

彼らが中学生になり、自分の道を進んでいく中で、6年間自分の意思で参加したことに

自信を持って進んで欲しい。

スタッフが大きな存在だったという保護者の方の意見は、心が震える位、嬉しい言葉であり、有り難い言葉であると同時に、とてつもなく責任が大きいことです。

その責任を感じながら、今後とも隊員一人一人に向き合い、それぞれの隊員の自分の道を進んでいく手助けになっていきたい。

文 古川誠



## 体験学習

### 雪遊びの極意 ～楽しい冬の計画をたてよう！～

※体験学習・・・学校、団体様向けプログラム

#### ■イグルー作り 4時間～ 2800円/生徒・児童1人



雪のブロックを積み上げて・・・ 屋根まで覆えたら・・・ こんなに素敵なイグルーナイトも

イグルーとは、圧雪した雪をブロックに切り出し、ドーム状に積み上げられたもの。雪のブロックをつくる係り、運ぶ係り、積み上げる係りなどなど、役割分担をして1基のイグルーを造ります。みんなで協力して雪のお家を造ろう♪（イグルーナイトは別時間となります）

#### ■スノーシューハイク 2.5時間～ 1200円/生徒・児童1人（スノーシューレンタル代別途）



スノーシューがないとこんなにスボスボ！！

スノーシューがあればフカフカの雪の上もすいすい♪

ダイブしたって痛くない！！

スノーシューとは、西洋かんじきのこと。かんじきは、雪の上を沈まずに歩く為の履物です。一晩で1メートルの雪が積もることもある菅平高原では、このかんじきが役に立ちます。真っ白な雪の上でフカフカのお散歩をしませんか？

#### ■雪合戦 2時間～ 1200円/生徒・児童1人（コート代別途）



作戦会議をし、いざ！！

シェルターに隠れて球をガード！

フラッグ奪取！！ゲームセット！！

ルールを聞いて、チームで作戦をたてたらゲーム開始！相手陣地のフラッグを取るか、終了時間までにより多くの仲間が残った方が勝ち。ゲーム待ちのチームも応援をしながら作戦を練り直したり、練習をしたりと、回を重ねるごとにどんどんいい試合になります。最後は優勝チームと先生チームの対戦も・・・！？

※時間・人数などはご相談ください。

## 2015年度 夏のキッズキャンプ募集中！

### やまぼうし原人キャンプ 原人になろう！オールテント泊プラン！

3泊4日ですべてテント泊！  
ひと夏に1コース限りの特別プランです！！

- 集合場所：池袋駅または現地集合
- 参加費：35,000円  
（交通費・往復 4,000円～5,000円別途）
- 日程  
8月12日～8/15
- 対象：小・中学生
- 定員：30名
- 最少催行人数：10名
- 申込はやまぼうし自然学校へ 詳細はやまぼうしHPをご覧ください！



### サマーキャンプin信州 菅平高原 森から不思議がじゃじゃじゃじゃーん！

- 日程  
①7/25～7/28 ②7/28～7/31 ③7/31～8/3 ④8/3～8/6 ⑤8/6～8/9  
⑥8/9～8/12 ⑦8/15～8/18 ⑧8/18～8/21 ⑨8/21～8/24

#### A 日の出・星空・テントプラン ①②④⑤⑥⑧⑨

キャンプ初めての方でも安心  
4日間でテント1泊・ペンション2泊

#### B じぶん・なかま・チャレンジプラン ③⑦

ステップアップしたい冒険心を応援  
4日間でテント2泊・ペンション1泊、  
根子岳登山にチャレンジ！

- 集合場所：新宿駅または現地集合
- 参加費：55,100円（新宿集合）※現地集合は 41,500円
- 対象：小学生
- 定員：40名
- 最少催行人数：20名
- サマーキャンプin信州特設HPは「2015サマーキャンプin信州」で検索！！

